

2020年 百里初午まつり アピール

暴走する安倍政権は、憲法破壊・「海外で戦争する国づくり」を推し進め、「防衛予算」増額など歯止めのない軍拡を進めています。

イランとの戦争も想定したトランプ大統領の「有志連合」呼び掛けに、国会閉会後の閣議決定という暴挙で、自衛隊の中東派兵を強行しました。

沖縄では県民が選挙ごとに「辺野古移設NO!」「普天間基地の無条件撤去」の意思を示しているにもかかわらず、辺野古新基地建設を強行しています。しかし政府も認めざるを得なくなった軟弱地盤の存在で、工事は立ち往生の状態になりつつあります。

また東京の横田基地にオスプレイの配備が強行され、茨城の空を飛んでいるという報告も増えています。百里基地も旧型戦闘機だけでなく、オスプレイが飛来する可能性も大きくなっています。「茨城の空にオスプレイはいらない」の声をさらに大きくしなくてはなりません。

安倍政権の危険性は、戦争する国づくりだけでなく、「桜を見る会」や「カジノ汚職」に象徴されるように、民主主義・立憲主義を真っ向から否定するということにその本質があります。絶対に許されることではありません。

安倍首相は、1月27日の予算委員会で、「憲法9条に自衛隊を明記する事で、百里基地にある『自衛隊は憲法違反』の看板をなくすことができる」旨を答弁しました。

安倍首相はいたるところで、「憲法に『自衛隊』を書き入れても何にも変わらない」といっています。語るに落ちるとはこのことです。9条の改憲は絶対に許してはなりません。

一方、憲法と平和を守り、戦争する国づくりを許さないという多くの市民の思いは、市民と野党の共同を発展させ、全国各地で取り組みが進められています。その力は今年の参議院選挙で改憲勢力を「3分の2割れ」に追い込んだことにも示されています。

百里公園初午まつりに集う私たちは、「戦争する国づくり」に暴走する安倍政権を、平和を願う市民と連帯して追い詰めるため取り組みをさらに強化します。

安倍政権が進める憲法9条などの改憲発議に反対する緊急署名、「安倍9条改憲NO! 改憲発議に反対する全国緊急署名」を成功させるなど、草の根の取り組みを地域から全県に運動を広げ進めます。

以上アピールします。

2020年2月11日

百里初午まつり 参加者一同